話し声を頼りに，とにかく一目散にかけて行きました。そこでケンが目にしたものは，それはそれは色とりどりの美しい蝶の世界でした。目を凝らしてじっと見てみると，マヤがエルムと一緒にいるではありませんか。

「マヤ！マヤ！ケンだよ！」

大声で何度も叫びました。でも，マヤは気づいてくれません。それどころか，ケンがマヤのいる場所まで行こうと思っても，迷路になっていて簡単に行くことができないのです。ケンは，とても悲しくなりました。でも，あきらめるわけにはいきません。何かいい考えはないものかと，辺りを見回してみました。すると，仲間の蝶がやってきて，

「おまえも花の蜜を吸ってみろよ。」

と言って，花の蜜を数滴分けてくれました。ケンは「飲むのいやだなあ」と思いながらも，「マヤを助けるには仕方ない。」と思い，我慢してその蜜を吸いました。すると，あっという間に，ケンはたくましい蝶に変身したのでした。たくましい蝶に変身したケンは，マヤをみつけると簡単にすぐそばへ行くことができました。